

# ズバリ市政を問う

## 一般質問

本定例会での一般質問は、12月8日から10日までの3日間行われ、13人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

※原稿は、会議録に基づき議員本人が作成しています。



## 国政に左右されない地方の産業活性化を

田中親彦 議員

### 九州新幹線を生かす地方の役割

**問** 行政が中心となって農林漁業の一次産業からJ A、商工会議所、観光協会、各種地場産業、旅行代理店等あらゆる産業界を一体とした、山から海まで矢部川流域の観光ベルトラインで人の流れを捉まえるため、筑後船小屋駅発着、国道442号經由阿蘇ルート開発により地域振興を図れ。

**市長** 駅開業後の広域的振興策は県南5市2町の駅設置促進期成会で、引き続きしっかりと連携して矢部川流域の振興に取り組み。広域観光を推進するため5市2町で構成する筑後広域観光推進協議会を発足させ、新駅に整備する情報発信施設についても協議している。5市2町の商工会議所、商工会、行政が共同で取り組む筑後地域広域連携観光開発事業で、国の補助を受

けて取り組んでいる観光開発と結びつけ、共有できる一体化した観光コンセプトでルートの確立を目指す。

### 過去の企業誘致の実績検証を

**問** 今回の長浜地区の用途変更は、地区計画地域として取り組まれて、建築物の用途制限は一層厳しい。それにより個人や民間による開発での土地利用は非常に困難である。地区計画地域

の利用は行政で計画を持ち、近未来の企業の誘致や立地向けた取り組みは、責任をもって実行して欲しい。

**都市対策課長** 工場の良好な操業環境を確保するため地区計画で土地利用制限を行うこととした。

**市長** 新幹線や高速道と国道バイパス等に繋がる都市環境の整備が進み、これを売りにして関東や関西等の企業に対し、精力的に誘致活動の先頭に立ち頑張る。



広域の活用を待つ新駅情報発信コーナー  
(イメージ)